



Q.1

ひょうめん

表面は
どうなっ
ているかな?

つるつるしてる?
それとも...?



Q.2

はいけい みどりいろ

背景の緑色と
オレンジ色にも
ちゅうもく
注目しよう。

色はぼんやりとしている?
はっきりとしている?

プロフィール

さくひん 作品の名前	いろえ もりあげいなほすずめもんそうみかびん 色絵盛上稲穂雀文双耳花瓶	うらがわ 裏側についているマーク
ねんだい 作られた年代	1891年～1921年(今から100～130年くらい前)	
ばしよ 作られた場所	日本	
ばしよ 売っていた場所	アメリカ	

みの
実ったイネ(いなほ)とふつくらとしたスズメの組み合わせは、おめでたい絵として
むかし
昔から日本にある絵がらです。



A.1 盛り上がっているところがある

すずめやいなほの一部が盛り上げてあります。

A.2 緑色とオレンジ色がグラデーションになっている

夕焼けの空みたいで、色と色のさかい目がぼんやりとなじんでいます。

盛り上がっているところは どうやって作ったのかな？

すずめやいなほの盛り上がった部分は、「盛上」という絵付け技法が使われています。これは、イッチンという道具や竹ぐしを使い、盛上用の絵具で模様をかく方法です。もりむらぐみ 森村組の絵付け工場は、この技法が得意でした。

背景は、絵具をスプレーのようにつき付けることで、色がぼかしてあります。

※イッチンは、ケーキの生クリームをデコレーションするときを使う、しぼりぶくろのような道具です。



もりあげ「盛上」は外国でも「Moriage」と言われているよ！

「ちょっと耳よりエピソード②」

1876(明治9)年、東京に「森村組」という会社ことができました。森村組の仕事は、日本のものをアメリカへ輸出することです。



もりむらぐみ 森村組を作った兄弟



もりむら いちざえもん 森村 市左衛門
もりむら とよ 森村 豊

どこで売っていたの？

豊はアメリカへ行き、ニューヨークに店を開きました。店の名前は「モリムラブラザーズ」です。ここでは、森村組が日本から輸出したものをアメリカ人に売っていました。

とうじき いがい 陶磁器以外にうちわや日本人形など、いろいろなものを買っていました。



「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。